

方剂名	効能	生薬組成
書籍	主治および証	病機 方意
祛湿剂 芳香化湿剂 5		
ろくわとう 六和湯	健脾化湿・昇清降濁	藿香・半夏・杏仁・人参・白朮・白扁豆・赤茯苓各6g・砂仁・厚朴各3g・木瓜4.5g・甘草2g 水煎し服用する。
医方考	<p>主治は、湿傷脾胃による吐瀉。 脾虚のものが夏に生冷物を摂取するなどにより、湿傷脾胃の昇降失調を生じた状態であり、化湿と、健脾を組み合わせで対処する。</p> <p>芳香化湿の藿香・白扁豆・厚朴・砂仁、宣肺化湿の杏仁、醒脾化湿の木瓜、燥湿化痰の半夏で、湿邪を除去する。藿香・白扁豆は解暑にも働く。健脾益気の人参・白朮・茯苓・甘草は、元来の脾虚を補い祛湿を助ける。「六和は、六腑を和すなり、脾胃は六腑の総司、故におよそ六腑和せざるの病は、先ず脾胃においてこれを調う」とあるのが、六和の意味である。</p>	